

第 26 回テーマ

## 「仕分け」の気持ちで「整理」する事

3月とは不思議な月である。「三寒四温」という言葉があるように、この季節は寒くなったり暖かくなったりと、天候の移り変わりも早いものだ。また卒業シーズンであったり、新たな出会いのシーズンであったりと世の中の変化も非常に早いと感じる。一度、全てを見直して、リストラクチャリング（再構築）する事も大事だと思っている。

振り返ると、とりわけ「整理」という言葉が心に引っ掛かる。気になるのではなく「引っ掛かる」のだ。昨年流行した「事業仕分け」のように「整理」と「仕分け」では若干意味が異なる。「整理」する方が少しネガティブなイメージを持ってしまうのは私だけだろうか？仕事を整理する...物を整理する、お金を整理する、人間関係を整理する等々、いつまでも整理できない自分がいた事に気がつく。決断の遅さや甘えといった感情が思いだされる。

これを経営的視点で考えてみると、整理すべき所と仕分けをすべき所を混同していなかっただろうか？という疑問点が浮かび上がる。企業はコストダウンと言え、事業整理や人員整理、経費削減や値下げ交渉などという策が出てくるが、これは「整理」であり「仕分け」ではない。例えば人がやめてしまえば、誰かに負担が回る。取引先を整理してしまえば、取引先は縮小する。企業としては結果、コストが下がってOKだが、プロセスとしてはどうだろうか？間違っていないだろうか？と考えてしまう。誤解のないように言うが、企業活動はキレイ每だけでは済まない部分もあると認識しているので、そういった事を否定するわけではない。問題はその「プロセス」の事である。手順を踏む段階で、短絡的に結論を追い求めるのではなく、もっと議論を進めて一番良い「仕分け方法」はなかっただろうか？という事である。

「熟慮に熟慮を重ねる」という言葉は非常に重いものだ、と痛感している。どれだけ考えても「まだまだ考えが至らない」と感じる事が多い。しかも決断後に「これで良かったのだろうか？」と考える事すら正直ある。気持ちの持ち方だが、頭から「整理」という事を念頭に置いたからだ。「仕分け」するのであれば、多方面に気が向き、さらに良い手段が浮かんで来ただろう。

3月という変化の月に、もう一度振り返って、自分自身を整理してみるのはいかがだろうか？もちろん「仕分け」するという気持ちを持ちながら。